

いずみさの教育



問合せ先
学校教育課

体力向上と運動習慣・生活習慣の確立

毎年、「全国体力・運動能力、運動習慣等調査」が小学5年生と中学2年生を対象に行われています。この調査は、握力、上体起こし、長座体前屈、反復横とび、20mシャトルラン（中学校は、男子1500m、女子1000mの持久走も選択可）、50m走、立ち幅とび、ソフトボール投げ（中学校はハンドボール投げ）の実技があり、それと同時に、運動習慣、生活習慣についての質問紙調査も行われます。

また、今年度から大阪府は独自に小学3・4年生を対象に1人1台端末を活用して記録を入力する「めっちゃMORMORSスポーツテスト」（調査内容は同様がスタートしました。スポーツ庁の結果分析によると、日常の運動時間が長い児童生徒の方が、短い児童生徒より体力合計点が高いのはもちろんですが、朝食摂取状況で比較してみると、「毎日食べる」と回答した児童生徒の体力合計点は、「食べない日もある・食べない日が多い・食べない」と回答した児童生徒に比べて高いという結果が出ています。また、学習以外でテレビやゲーム、スマートフォンなどの

画面を見ている時間で比較すると、平日1日当たり、3時間以上見ている児童生徒の体力合計点は、全国平均値よりも低いという結果も見られます。

さらに、近年のコロナ禍の影響で日常的に運動する機会が減り、全国的に体力は低下傾向になってきていることから、市では、子どもたちに運動習慣をつけるため、各校が体力づくり推進計画（アクションプラン）を作成し、目標をもって体力づくりの取組を推進しています。また、「泉佐野市体力向上プログラム」として、大阪体育大学の学生による授業のサポートを行ったり、小学生の有意義なスポーツ交流の場としてSANOリンクピックを開催したりするなど、子どもたちの体力や運動意欲の向上を目指して取り組んでいます。加えて、生活習慣も体力向上の重要な要素であると考え、「早寝早起き朝ごはん」を合い言葉に、学校だけでなく家庭へも基本的な生活習慣の改善を呼びかけています。

今後子どもたちの体力向上のために、市では運動習慣や生活習慣の確立に向けて取り組みます。

学校園紹介



日根野中学校の2学期
～日根野中学校～

日根野中学校では、この2学期に多くの行事が集中しています。まず1学期の終盤から取組の始まる連合スポーツ大会。各学年が縦割りで連合を編成し、3年生が中心になって連合をまとめ上げ、連合対抗で競い合う形式になっています。40年余り引き継がれてきた形式です。今年度も現3年生が各連合の勝利に向かって頑張っており盛り上げてくれました。



連合スポーツ大会の後すぐに「合唱コンクール」の取組が始まります。2年前はコロナ禍で実施できませんでした。現3年生は1年生時に合唱コンクールを経験していない分、教師側では不安は隠せなかったのですが、本番に向けて子どもたちが予想以上の頑張りを見せ、どのクラスも素晴らしい合唱を発表してくれました。この学校の伝統の深さ、また先生たちの熱意の成果・結果だと感じました。



高めよう！伝える力
～日根野小学校～

今年度は、「高めよう！伝える力」を研究主題に、市の授業改善プロジェクトの講師である、ちよんせいこ先生に来ていただき、研修を実施しています。

1年生の授業では、友だちの話を聞くときの「あいづち」について、「うんうん」「なるほど」「わかる、わかる」と声に出しながら話を聞くスキルを学びました。4・5年生の授業では、インタビュー活動を行いました。聞き手は、友だちの「好きな食べ物」や「今がんばっていること」について具体的なエピソードを交えながら聞き、ホワイトボードに記録し交流しました。どの学年も、話し手も聞き手も気持ちよく話し合い活動ができるように、また、伝えるスキルを身につけ、友だちとこれまで以上に深くつながることができるようにと、授業の工夫改善に努めています。



子どもたちは、全員がファシリテーターの経験を積みながら、話し合いのスキルを高めているところです。この活動を進めていくうちに、本音で語り合う場面が増えてきました。今、求められる能力の1つであるコミュニケーション力の育成にも通じるものがあると期待して、さらなる研鑽に努めます。

